

「おもしろいなあ。」のその先は？

株式会社総合環境分析
技術部 技術二課
小路 はるか

(株)総合環境分析の 小路(しょうじ)はるか です。苗字が読めないため、業者さんに「おじさん」と呼ばれるのが密かな悩みです。

今回、LC 初段を受験するにあたり、この「分析士の声」を書かせて頂くことになりました。

しかしながら、この声を書いている今は受験前なので自己紹介を書かせて頂きたいと思います。

「おじさん」改め、私、小路は、神奈川県で生まれ、幼少期を埼玉県で過ごし小学校低学年時にイギリス領土の香港へ、小学校 5 年生の時に大阪府へ渡り、大阪の少路高校を卒業して、神奈川県立神奈川工科大学を卒業しました。既にややこしいですが、高校名は打ち間違いではありません。

大学では、工学部応用化学科で学び、研究室ではオスのヒメダカを用いた ELISA 法にてオスのメス化を研究していました。そのため、液体クロマトグラフィ自体は、研究室にあるものの「授業でやったなあ。」程度の認識でした。

弊社に就職したのは、大学を卒業した 3 年後になります。それまでは市の文化会館で舞台の裏方として働いていました。三輪明宏さんや唸家の歌丸師匠の舞台を近くで体感できたのは刺激的な思い出ですが、学生時代に経験して来た「定量分析」と「水生生物への影響調査はしたから、その原因の水の分析がしたい！」という思いで総合環境分析に就職しました。

弊社ではありがたくも地元の河川調査を請負っているため、サンプルの地点名を見ては、内心ニヤニヤと仕事をしています。

就職当時、異業種へ就職したこともあってか、分析に必要な知識をほぼ忘れていました。機器分析においては尚のことです。先輩に言われるがまま、手順書通りに仕事をするしかなく、ピークのテーリングの意味すら分かりませんでした。そこで初めて読んだのが「虎の巻」になります。日々の疑問点を Q&A 形式で載せてくれているこの本は痒い所に手が届くだけでなく、分からずとも「おもしろいなあ。」と、感じました。

今回はこの「おもしろいなあ。」がどれだけ血肉になっているのかを試す試験になります。

受かって皆さんと笑顔で会えることを切に願いたいと思います。

(2019年7月11日 記)

プロフィール

小路 はるか Haruka Shoji LC 分析士初段習得予定

略歴：神奈川工科大学 工学部 応用化学科卒

2014年株式会社総合環境分析入社

趣味：ボルダリング

